

要 望 書

令和7年9月2日

倉吉市長 広田一恭 殿

小田自治公民館

館 長 船越靖博

防災部長 船越勝儀



側溝蓋、歩道及び横断歩道の設置に関する要望書

酷暑が続いておりますが、市長には益々ご清祥のことと存じます。
さて表題について、以下の通り要望させていただきます。

1. 家屋が連担する区間の側溝開口部への蓋板設置
2. 市道交差点間の歩車道境界ブロック設置による歩道の整備
3. 歩道間を連絡するための横断歩道の設置

□ 添付資料は以下の通り

- (1) 要望に至った経緯(現在の状況)
- (2) 該当区間の位置図(説明図)
- (3) 現況写真(標準部及び交差点部)
- (4) 現況断面及び改良断面案
- (5) 横断歩道・停止線設置提案模式図



(1) 要望に至った経緯(現在の状況)

- ① 小田地内を通過する「市道和田東町井手畑線」の一部区間の側溝には蓋板が無く、夜間に近隣住民の転落事故が発生する等、非常に危険な状況が続いています。
- ② 同区間には歩道が無く、小田自治公民館や小田リサイクルセンターの利用など、公民館の自治活動に支障を来すとともに、交通事故への遭遇が懸念されます。
- ③ 小学校児童は、登校時の集合場所(小田自治公民館)へ安心して安全に歩いて行くことが出来ません。保護者が自動車で集合場所へ送迎しています。
- ④ 沿道に在住の高齢者が、健康維持のためウォーキングをされる際に非常に危険な状況です。
- ⑤ 同区間は約150mの直線区間ですが、かなりのスピードで自動車が走り抜けています。市道小田3号線への90° 右折部も減速しないで最短区間で進入するなど、極めて危険な交差点となっています。

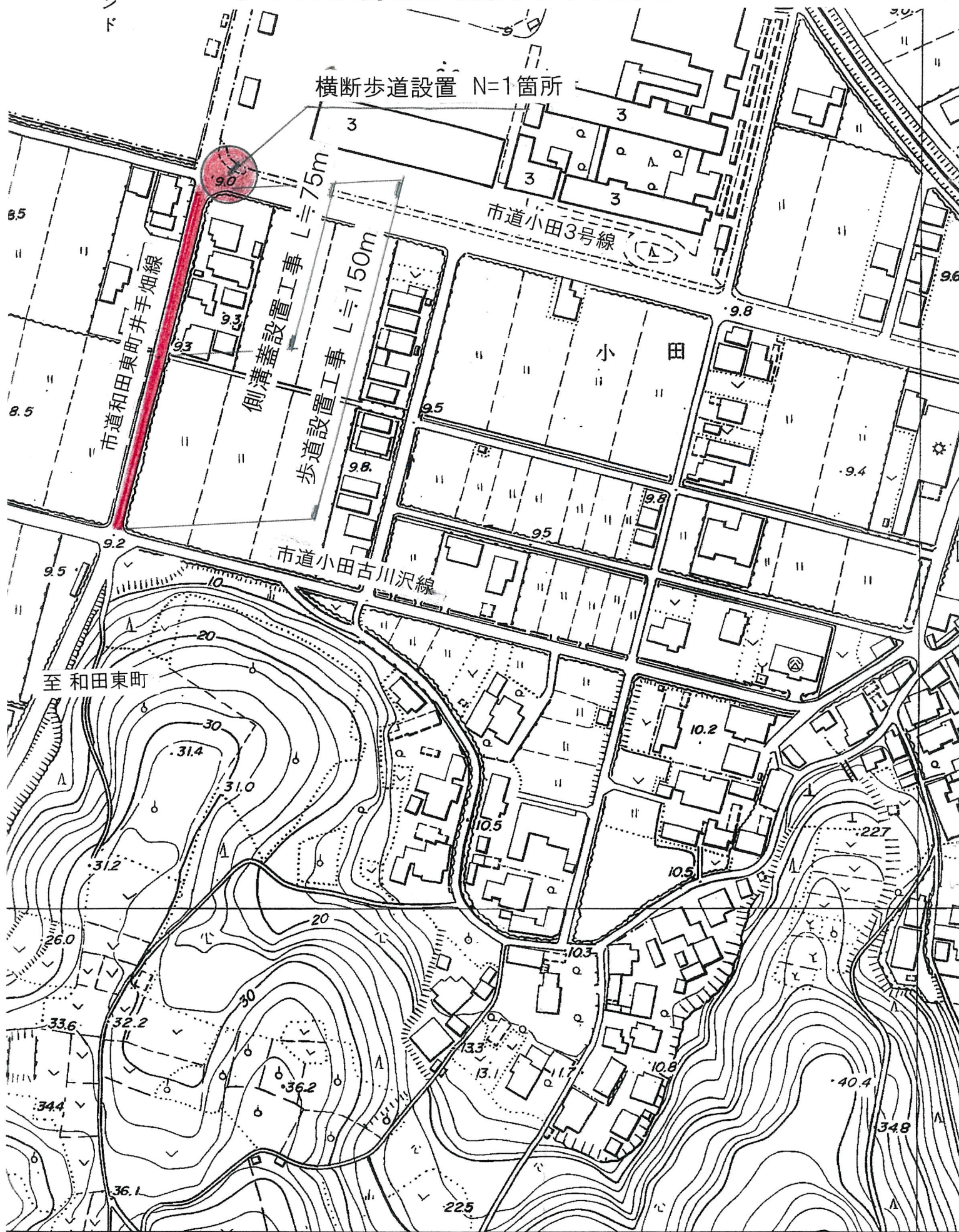
(2)

至 井手畑

該当区間の位置図

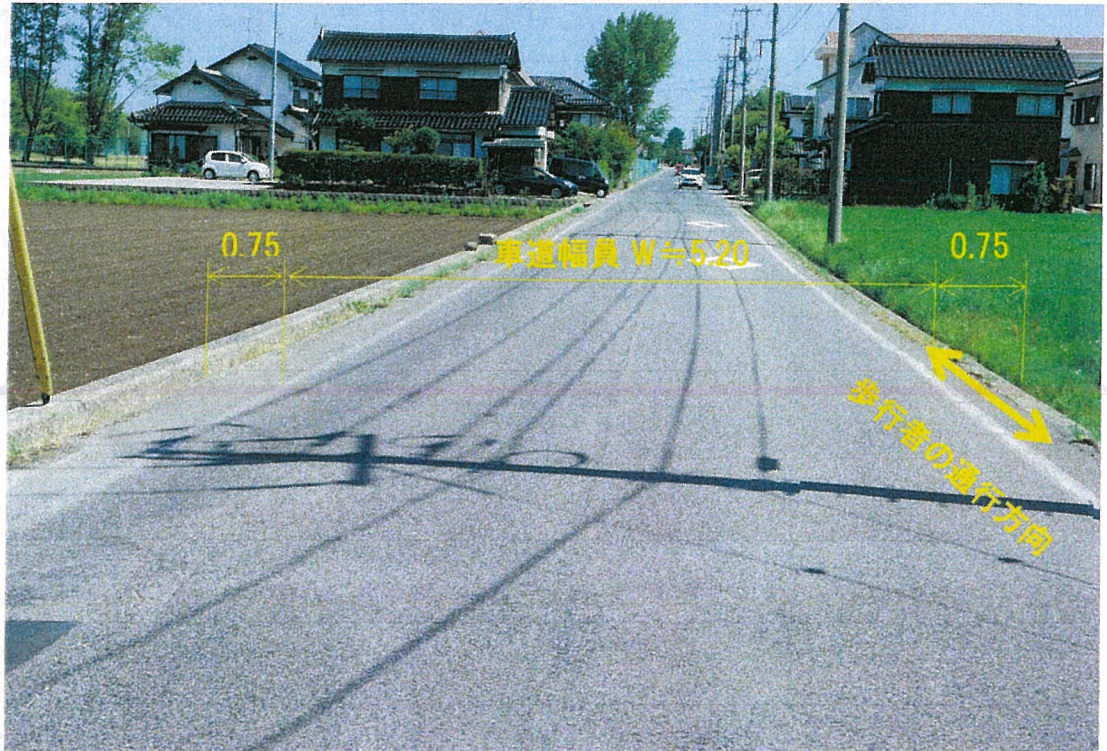
グラウンド

小田自治公民館内平面図 S=1:2,000



(3)現況写真(標準部及び交差点部)

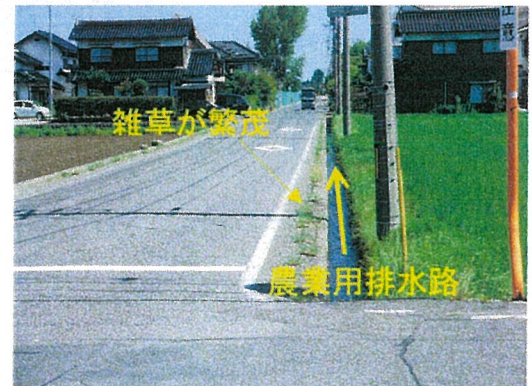
□標準部 1 (全景)



□標準部1-1 (左路肩付近)



□標準部 1-2 (右路肩付近)



【説明】

- ①標準部 1 (全景)の通り、歩行者が通行可能となる路肩が非常に狭く、擁壁と舗装の境界に雑草が繁茂し成長しすぎると歩行を阻害する。
- ②大型トラックの交通量が相当あるため、歩行時に遭遇した時は恐怖感が高まる。
- ③左路肩部の側溝幅は広すぎる。
- ④右側の農業用排水路は、維持管理(堆砂除去)を考慮すると有蓋水路にはできないか？あるいは蓋掛け構造とすれば維持管理の支障が少ないか？

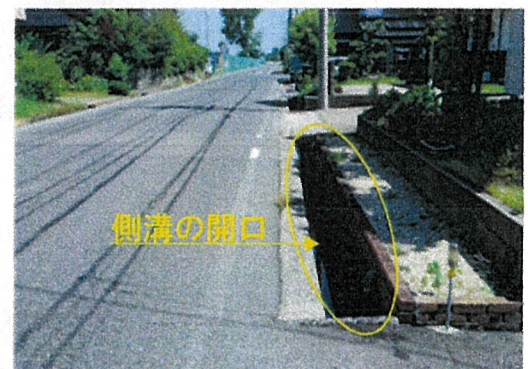
□標準部 2（全景）



□標準部2-1(左路肩付近)



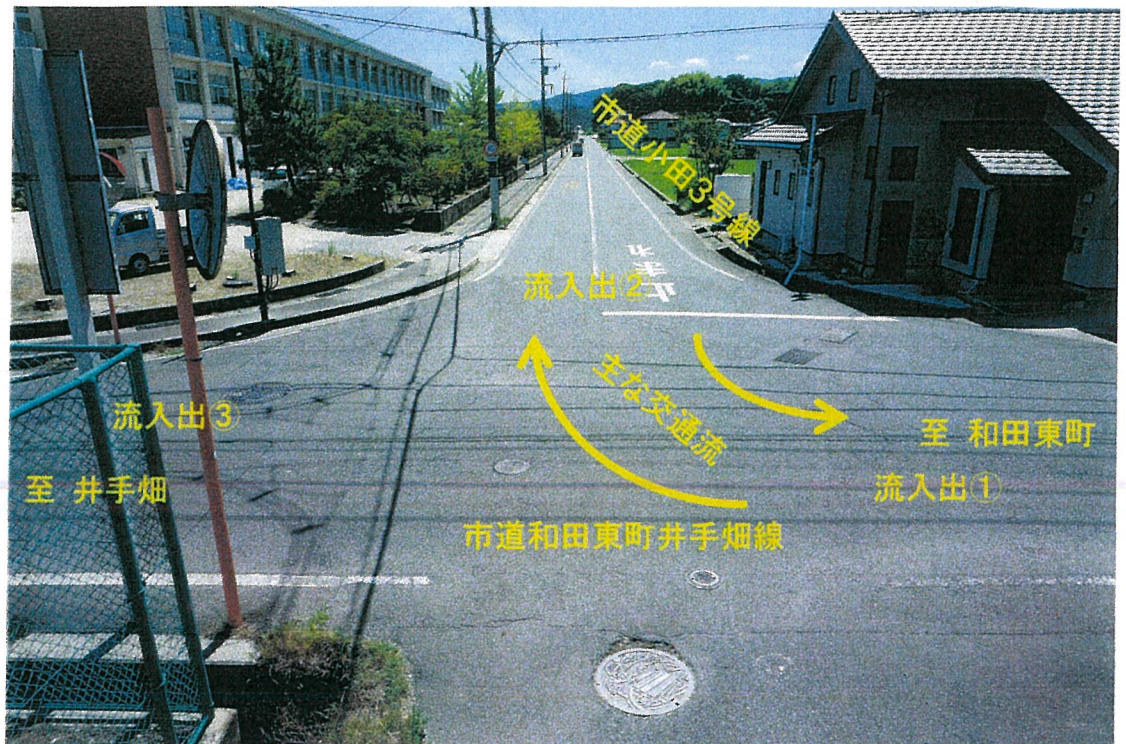
□標準部2-2(右路肩付近)



【説明】

- ①全景写真の通り、歩行者が通行可能となる路肩が非常に狭い。
- ②大型トラックの交通量が相当あるため、歩行時に遭遇した時は恐怖感が高まる。
- ③近隣住民(高齢の方)がウォーキングの際に交通事故に遭遇しそうになったことがある。
- ④近隣住民(子供など)が側溝に落下したことがある。

□交差点部(全景)



□流入出①から交差点中心



□流入出③から交差点中心

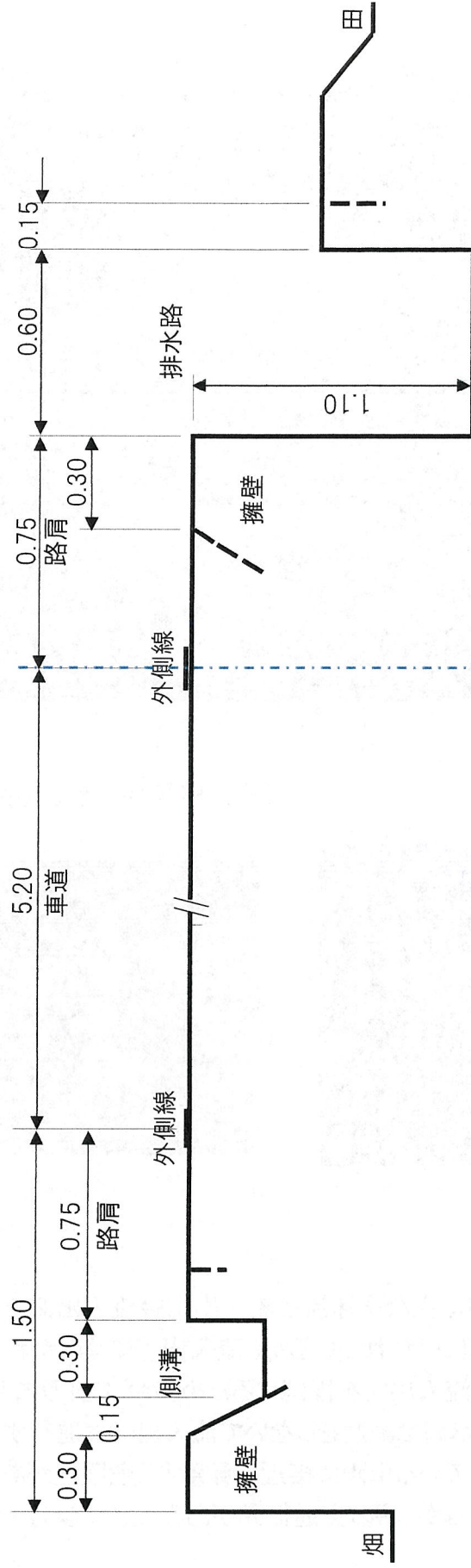


【説明】

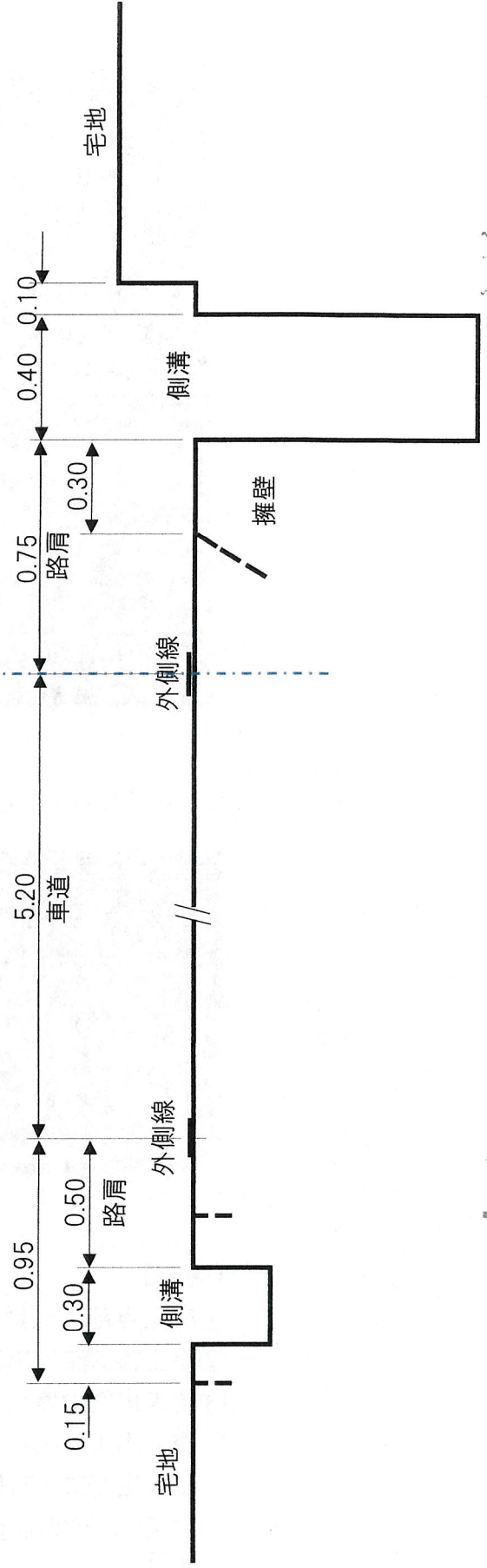
- ①交差点部（全景）の通り、主な交通流は流入出①⇄流入出②である。
- ②停止線は流入出②と③に引かれているが、流入出①には引かれていない。
- ③流入出②の停止線は、流入出①を視認するため、かなり前面に引かれている。
- ④流入出①から進入した車両は減速をしないで流入出②に進行するため、流入出②に一時停止している車両に接近し衝突する危険性がある。
- ⑤大型トラックの通行時にはかなりの交通振動がある。また、歩行時には接触の危険性が高い。

(4-1) 現況断面(市道和田東町井手畑線)

①-①断面

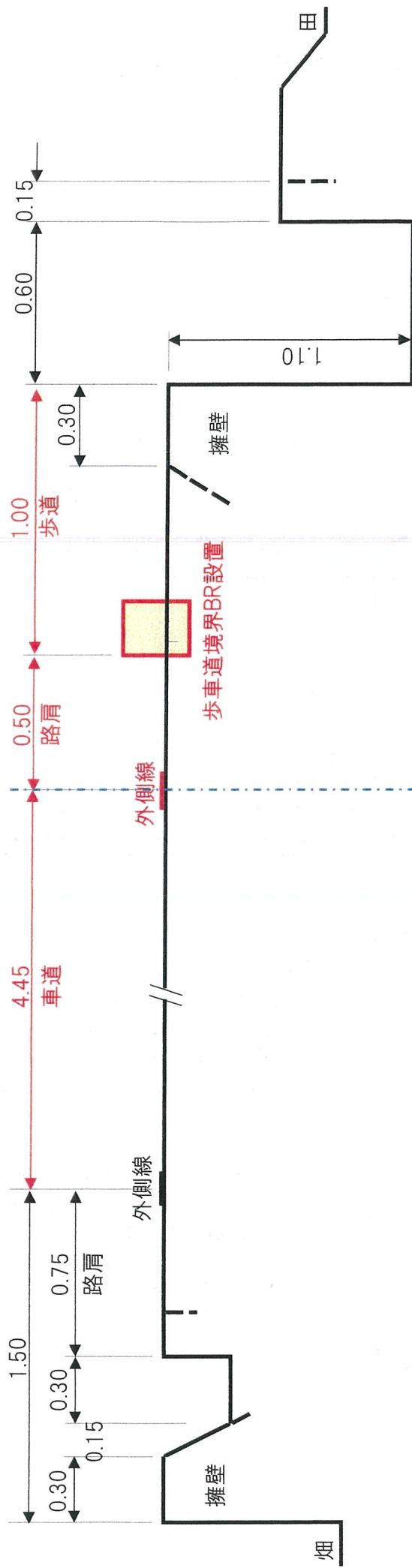


②-②断面



(4-2)改良断面案(市道和田東町井手畑線)

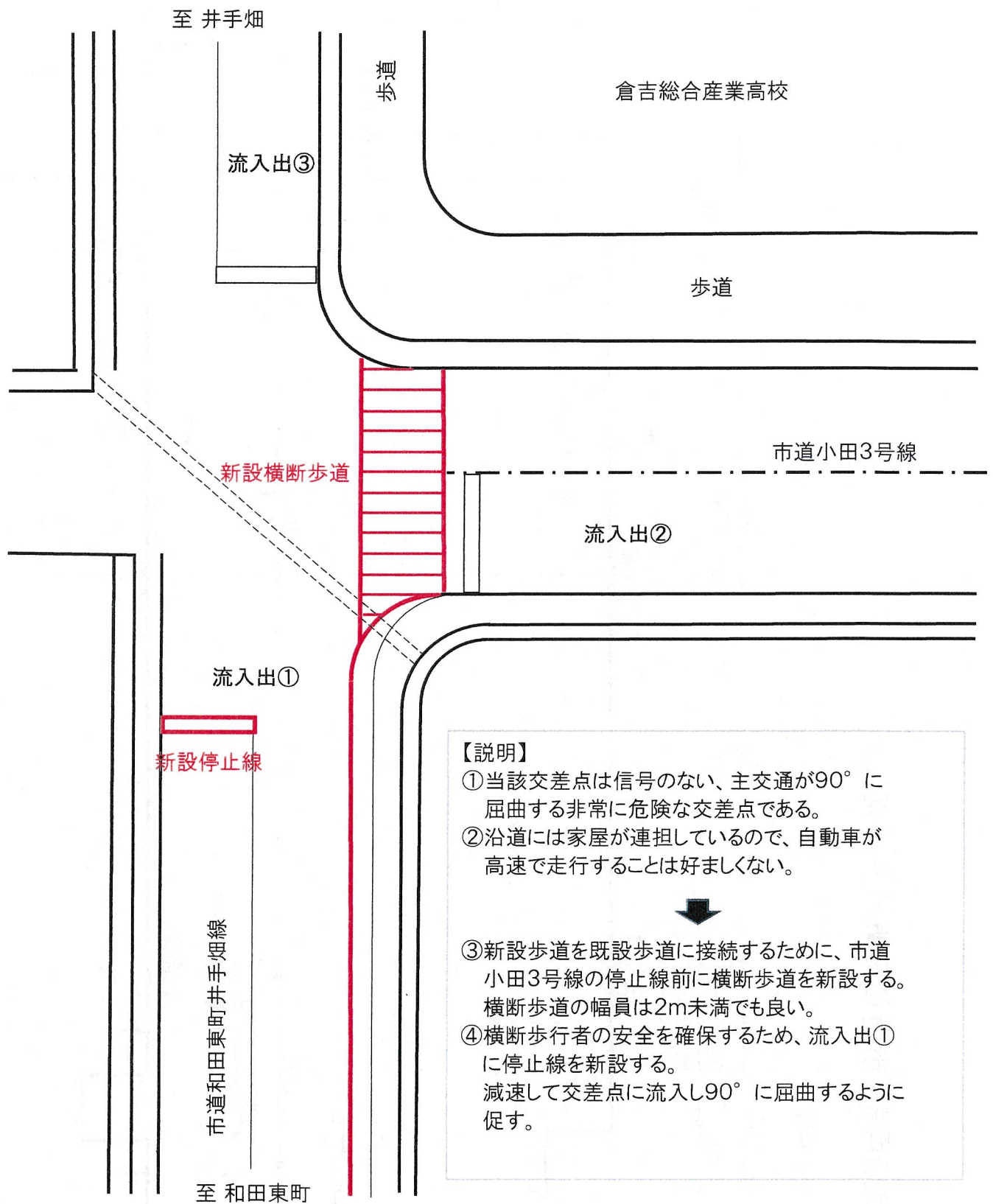
①-①断面



②-②断面

Diagram ②-② shows a cross-section of the road. The left side features a sidewalk (歩道) with a width of 1.00m, a shoulder (路肩) of 0.50m, and a road (車道) of 4.45m. The right side includes a sidewalk (歩道) of 1.00m, a shoulder (路肩) of 0.50m, and a road (車道) of 4.45m. A dashed line indicates the centerline. A yellow box labeled '歩車道境界BR設置' (sidewalk/road boundary BR installation) is shown on the right side. A dashed line labeled '外側線' (outer line) is also present. A '擁壁' (retaining wall) is shown on the right side. A '宅地' (residential land) is labeled on the far right. Dimensions include 0.30m, 0.40m, 0.10m, and 0.40m. A red arrow indicates a 0.40m offset.

横断歩道設置模式図



要望書を提出するに至った経緯等 説明資料

1. 交通の現状

- ①該当の「市道和田東町井手畑線」は、向山南西側の社・北谷・灘手・その他の地区からの交通が多い。
- ②特に、朝の通勤時に市街地の交通渋滞を避ける目的で走行する通勤車両が殆どであると思われる。
- ③通り抜け車両の殆どは、倉吉総合産業高校前の小田3号線に90°右折する。
- ④日中の交通量は、仕事関係の車両が時折通過する程度と朝の通勤時に比べて少ない。

2. 整備済み状況

- ①和田東町井手畑線の小田3号線交差部から県道上井北条線（下古川地内）までの直線区間は、東側に幅員2mの歩道が整備済みである。

3. 沿道住民の安全

- ①沿道には、若者家族（乳幼児を含む）の転入が数件あり、開口側溝への転落とともに交通事故に対する不安がある。
※転入理由は、小田地内は周辺環境や人間関係が素晴らしく住みやすい。
- ②交差点付近に住む小学校児童が、朝の登校時に小田自治公民館（集合場所）に安心して歩いていけない。止むを得ず、保護者が車で送っていた。
- ③沿道住民が小田自治公民館や小田リサイクルセンターを利用する際、行く道中において交通事故の危険に脅かされている。
- ④付近の高齢者は、倉吉総合産業高校側の歩道に向かって、散歩やウォーキングをされているが、自宅から整備済みの歩道に至るまでが非常に危険である。

4. 当該市道の構造と危険性

- ①当該市道の1日当り交通量が1,000台/日以上あるとのこと、道路構造令では第3種第4級に該当し、車道幅員2.75m、路肩幅員は0.50mとなるため、全幅員は6.50mが必要となる。但し車線を分離する必要がある。
- ②現況の道路幅員が6.70mなので、歩道を設置するスペースが無い。
- ③当該区間は2本の市道の交差点に挟まれた区間（約150m）で、横断歩行者があるが、市道小田古川沢線の4支交差部の横断歩道で、一旦停止する車両は殆どない。
- ④倉吉総合産業高校前の市道小田3号線の3支交差部は、視通が悪いのに停止線が無い。減速せずにショートカットで屈曲走行するため、極めて危険な交差点である。

5. 歩道設置への期待

- ①要望の主旨は、車を優先する考え方だけではなく、生活道路として住民が安全に歩行（生活）できるように、幅員1.00mの歩道を現実的に考えた最低幅員として併設してほしいというものです。
- ②現在の車道幅員5.20mが確保できなくなりますが、左側の路肩構造を改良すれば車道幅員5.00mは確保できるのではないかと考えられます。



□当該区間の150mは、道路構造令第3種第4級の基準（数値）に拘らず、自動車の走行速度の軽減と抑制を促し、歩行者の安全を確実にするために歩車道の分離を期待します。

※なおこの時、歩行帯を設置することでは、歩車道境界ブロックの設置に比べ、安全性に劣ると考えられます。

□車線が無い道路で、2台が並んで通行できる離合可能幅員は、5.50m程度とされますが、当該区間は減速走行すべき区間なので、車道幅員が5.00mでの離合は安全確実にできると考えられます。

小型自動車等 離合余裕 小型自動車等

$$\text{離合幅員} = (2.00 + 1.00 + 2.00) = 5.00\text{m} \leq 5.00\text{m}$$

※1 和田東町（小鴨川堤防部）及び倉吉総合産業高校の屈曲部は90°の交差部で、隅切りがありません。

※2 現況から、道路構造令でいう設計車両は「小型自動車等」が該当します。

（長さ6m・幅2m・高さ2.8m・最小回転半径7m）

※3 「普通自動車」の構造諸元は（長さ12m・幅2.5m・高さ3.8m・最小回転半径12m）は、進入が困難であると考えられます。

以上、よろしくご検討をお願いいたします。

小田自治公民館

館 長 船越靖博

防災部長 船越勝儀